

2024年度 実施事業の概要

1

生産性向上・合理化推進事業

本事業では、現場力を高める管理・改善の実践手法から、製品設計、生産技術、切削などの加工技術、機械の保全や環境技術にいたるまで、対象を細分化し、幅広いテーマを設定。技術水準の高度化、製造・技術人材の育成に注力した。

1－1 生産管理実務研修

概要	売れるものを売れる時期に売れるだけつくというのが企業の命題。そのために必要な生産管理手法（生産計画、工程管理、在庫管理、原価管理など）について学ぶものとした。	
実施内容	「Excelを使った原価計算のやり方」、「在庫の現品管理」、「工程管理の基礎知識」、「Excel 在庫管理表」「生産スケジュール」、「調達購買力強化研修」、「原価計算と見積のトラブルシューティング」 など	
	開催件数	73 回（うちオンライン開催 46 回）

1－2 品質管理実務研修

概要	品質は企業の信頼や競争力を左右する重要なテーマである。不良品の発生を抑え、また、発生しても外に出さない仕組みづくりが不可欠であり、そのために必要な技術・手法を学ぶものとした。	
実施内容	「検査員 養成講座」、「ISO9001 内部監査員養成講座」、「部下のボカミス 減らすためのアプローチ」、「品質トラブル再発防止・未然防止の具体策」、「外観目視検査 正しい進め方とレベル向上策」 など	
	開催件数	61 回（うちオンライン開催 26 回）

1－3 現場改善実務研修

概要	人の動き、作業の手待ち、設備のチョコ停など、現場に潜在するムダを徹底的に排除し、生産性を高めることで製造原価を下げる。実践に活かすさまざまな改善手法を学ぶものとした。	
実施内容	「5S 活動の基本と実践」、「工場 少人化の実践」、「作業エリアのレイアウト改善」、「工原価低減の進め方」、「改善パトロールの具体的な進め方」、「ムダとりへの実践」 など	
	開催件数	34 回（うちオンライン開催 16 回）

1－4 工業技術セミナー

概要	機械や電気など生産技術に関する知識、金属や樹脂材料に関する知識、切削や溶接をはじめとする金属加工の知識など、あらゆる工業製品の製造に関わる技術テーマを網羅的に取りあげた。	
実施内容	「電気系トラブルの診断方法」、「機械加工技術(切削、研削など)」、「電気・電子回路図の正しい読み方」、「ロボットシステムエンジニア養成講座」、「金属材料の基礎知識」、「機械設備の日常保全」 など	
	開催件数	51 回（うちオンライン開催 19 回）

1－5 設計実務研修

概要	設計は製品の品質やコストを決定づけるため、それを担う技術者のスキルアップは欠かせない。JIS 規格に準じた図面の描き方、設計変更、強度設計などさまざまなテーマを取りあげた。	
実施内容	「図面の基礎(描き方、寸法公差)」、「制御盤設計(回路設計、筐体設計)」、「図面チェックの進め方」、「設計ミスの再発防止」、「ねじの基礎と締結のメカニズム」、「回路設計技術者 養成講座」など	
	開催件数	37 回（うちオンライン開催 16 回）

1－6 技能開発訓練		
概要	知識を習得するだけでなく、実際の現場での技能を身につける研修を開催。研修施設を持つ企業との提携や、実習機材を用いるなどして技能訓練を行い現場作業者のレベルアップを図った。	
実施内容	「電気の基礎」、「協働ロボット 技術セミナー」、「ラズベリーパイを使った IoT ツール制作」、「シーケンス制御 実践セミナー」、「機械保全実践力強化研修」 など	
	開催件数	19 回

1－7 工場管理実務研修		
概要	工場の管理・改善に必要な実務テーマを相互に関連づけ、実務者やリーダークラス、管理者までのスキルアップ研修。幅広い知識を学ぶことで、実務力の向上を図った。	
実施内容	「排水処理の実務」、「新人への OJT 指導力強化研修」、「工場長の視座と経営革新の指揮」、「安全衛生委員会活性化のポイント」、「機械設備のオーバーホール」、「機械・設備の予防保全」 など	
	開催件数	34 回（うちオンライン開催 14 回）

1－8 中期・長期講座		
概要	主に製造・設計・品質管理などの技術部門の方を対象として、ひとつのテーマを複数回の講義で掘り下げ学ぶ。体系的に構成されたプログラムで、実務力の向上を図った。	
実施内容	「現場改善 実践研修コース」、「生産管理 基礎講座」、「品質管理 実務研修」、「機械設計技術 基礎講座」、「機械・設備保全基礎力強化コース」など	
	開催件数	189 回（うちオンライン開催 77 回）

1－9 環境関連資格取得推進講座		
概要	国家資格の取得を目指す方のための試験対策講座。環境関連資格に特化し、公害防止管理者の試験対策講座を開催した。	
実施内容	「水質関係第 1 種 公害防止管理者試験対策講座」、「保護具着用管理責任者講習」 など	
	開催件数	4 回

2

経営革新・マネジメント力強化事業

国内外の経営環境が依然として厳しいなかで企業が生き残りを図るためには、守りの戦術として財務面での経営基盤の強化や人事制度の整備を進める一方、攻めの戦術として営業力の拡充やグローバル市場の開拓にもいっそうの注力が求められる。こうした観点から、本事業では、現下の難局に立ち向かう取り組みを後押しし、必要な知識・情報を提供することで人材育成を支援するため、各種セミナー・研修を実施した。

2－1 人事管理実務研修		
概要	労働関係法令の理解を促し、各種手続き業務をはじめ、従業員の採用や人事考課、賃金、処遇など、人事労務に関するテーマを全般的に取りあげた。	
実施内容	「労働法の基本」、「人事制度設計 基本と見直しポイント」、「面談と人事評価の進め方」 など	
	開催件数	19 回（うちオンライン開催 7 回）

2-2 営業強化実務研修

概要	基本的な営業マナーや商談・交渉スキルといったすべての営業社員に必要な能力、管理職として営業組織を率いるマネジメントスキルなど、それぞれの立場に応じた実践力を習得する研修を開催した。	
実施内容	「営業トークの基本と実践」、「営業マンの言葉の選び方」、「ChatGPTで営業活動の効率化」など	
	開催件数	47回（うちオンライン開催18回）

2-3 国際ビジネス実務研修

概要	事業のグローバル展開に必須の知識・ノウハウを解説。貿易業務や海外調達に携わる方を対象としたテーマでセミナーを開催した。	
実施内容	「海外取引における税務処理 実務上の留意点」	
	開催件数	3回（うちオンライン開催1回）

2-4 階層別能力開発研修

概要	経営目標の達成に向けた各自の責任・役割の自覚を促すため、各階層に求められる実務知識・基本行動を整理。立場に応じた職責を全うするための要諦を演習やグループ討議を通じて指導した。	
実施内容	「部長研修」、「課長研修」、「係長研修」、「主任研修」、「若手リーダー研修」など	
	開催件数	72回（うちオンライン開催15回）

2-5 職務実践力向上研修

概要	労働生産性の向上は直接部門だけの問題ではなく、間接部門でも取り組むべき課題である。総務部門や経理部門など、ホワイトカラー向けの実務研修を開催した。	
実施内容	「社内調整力」、「決め事を守らせるには」、「指示の出し方・報告の受け方」、「仕事の任せ方」など	
	開催件数	106回（うちオンライン開催44回）

2-6 経営管理実務研修

概要	経営管理機能の強化を目指して、経営者・経営幹部・管理スタッフを対象に、具体的な実務課題を取りあげた研修を開催した。	
実施内容	「決算書の読み方」、「総務担当者の基礎実務」、「英文契約書の基礎知識」、「下請法の知識」など	
	開催件数	42回（うちオンライン開催14回）

2-7 中期・長期講座

概要	主にホワイトカラーの方を対象として、ひとつのテーマを複数回の講義で掘り下げ学ぶ。体系的に構成したプログラムで、実務力の向上を図った。	
実施内容	「はじめて学ぶ経理の仕事」、「人事労務管理基礎コース」、「事務手続き基礎コース」など	
	開催件数	58回（うちオンライン開催35回）

3

大会・フォーラム事業

ビジネス環境変化が激しい昨今、経営組織の革新や人材力の底上げが急務である。そのための情報・ヒントを得ていただく講演会を開催。情報収集とあわせ異業種・異分野の多彩な企業の相互理解を促すことを目的に、大会事業を実施した。

3-1 経営セミナー

概要	経営者・経営幹部を対象として開催する経営セミナー。複数名の講演者を迎え、成功や失敗などそれぞれの経験を通して培った原理原則などを共有することで、事業活動におけるヒントを提供した。
開催件数	1回

3-2 工場長大会

概要	工場長・工場幹部を対象として開催する「工場長大会」。講演者には独自の経験やノウハウを持つ工場長や製造部門長を招き、工場運営に関する要諦をさまざまな切り口から紹介することで、自社における活動のヒントを得ていただいた。
開催件数	1回

3-3 現場リーダー大会

概要	製造業の現場のリーダークラスを対象とした大会。チームづくりや人づくり、改善活動など、製造現場に必要とされる幅広いテーマについて、考え、行動につなげていただくための場として開催した。
開催件数	1回

4

経営支援・会員交流推進事業

当協会は約1,500社からなる会員組織を有し、大企業から小規模企業まで、また機械、金属、電機、化学、食品、あるいは卸売業といったように、規模や業種の異なる多様な事業所が参画していることが大きな特色である。こうした会員事業所間の有機的な連携と協調を促進するため、経営支援および会員交流に関わる事業を積極的に展開した。

4-1 大阪府工業技術大学講座

(後援／大阪府)

概要	1年間にわたる技術者育成研修。これまでに約2,700名が修了。次代の技術力を担う若手・中堅技術者を対象に、実務に役立つ大学レベルの機械系の工学基礎理論から応用技術知識までの修得、さらに高度な先端技術への理解を深めることを目的として、講義、実習、見学を行った。就業と研修の両立のため、講義は夜間に実施。企業の将来を担う技術者として必ず知っておきたい工学基礎理論として、材料(金属・プラスチック)や設計・製図、加工法など、機械工学系の科目を中心に、電気・電子、制御、管理技術など、製造業の技術者として必要な科目をバランスよく組み合わせ、幅広い技術知識が修得できるようカリキュラムを編成。大学の機械系学部準じた基礎・専門科目をじっくり学ぶとともに、旋盤・溶接・CADなどを少人数による密度の高い実技科目、実際のものづくり現場に触れる見学科目を組み合わせた。今年度は、より実学指向を目指して講義内容を見直すとともに、企業の実務者が講師を務める特別講義科目では、最近のトピックテーマに再編。また、見学研修の訪問先再選定を行うなどプログラムの充実を図り、第64期として実施した。	
実施内容	座学:「材料力学」、「金属材料」、「生産加工技術」、「機械計測」、「熱力学」、「流体力学」、「機械製図」、「機械要素設計」、「シーケンス制御」、「熱処理技術」、「表面处理」など30科目 実習:「シーケンス制御」、「機械製図」、「2次元CAD」、「3次元CAD」、「油空圧技術」、「NC旋盤」、「溶接技術」、「電気回路」8科目中2科目を選択受講 見学:ダイキン工業(株)、(株)西島製作所、(株)東研サーモテック、(株)菰下溶断、(株)三社電機製作所、モリ工業(株)、京都機械工具(株)、大阪産業技術研究所 全8拠点	
	開催期間	4月～2025年3月

4－2 新入社員教育講座

概要	新入社員に社会人としての自覚を促すとともに、働くうえで必要な基本行動・知識を修得させる総合基礎教育のほか、職種別の導入教育やビジネスマナー研修を実施。さらに、機械金属・プラスチックメーカーに的を絞った専門知識を学ばせる研修、規律や礼儀を体得させる禅寺合宿研修など、多様なニーズに合わせたカリキュラムを提供した。	
実施内容	「総合基礎教育」、「製造社員」、「営業基礎」、「技術系基礎」、「ビジネスマナー」、「材料の知識」、「加工の知識」、「図面の読み方」、「工場の安全の基本」、「禅寺合宿研修」 など	
	開催件数	29 回（うちオンライン開催 11 回）

4－3 経営力強化研究会

概要	変化の激しい時代には、自身の目と耳で的確な情報を収集することが欠かせない。そこで、新たな市場領域の開拓、異分野でのビジネスチャンスの獲得、あるいは生産システムの再構築など、事業の新展開につながるヒントを得るため、以下に挙げるようなさまざまな研究会を開催。個々の企業ではなかなか得られない情報に触れる機会を提供した。	
実施内容	「広報活動実践研究会」 （ハイブリッド形式） 中小企業のブランド力や認知度の向上は、社員の働きがいや採用力の強化につながる重要な戦略のひとつである。この研究会では、広報に携わる担当者を対象に、成功している企業の事例から、自社で取り組むヒントを得ていただき、多様な視点から自社の価値を伝える手法を考えた。	
	開催期間	5 月～10 月
	「D×担当者スキル養成講座」 （講座形式で実施） 企業の DX 推進において中核となる人材を育成することを目的とし、パソコン実習を通じてオフィス業務の効率化に不可欠なスキルや、IT ツールの活用方法を実践的に学ぶ。現場で即活用できる技術と判断力を身につけることで、DX の第一歩を踏み出していただくための知識を提供した。	
	開催期間	6 月～2025 年 1 月
	「オフィス業務D×研究会」 （ハイブリッド形式） ホワイトカラーの生産性をいかに引き上げるかに関心が集まるなか、業務の効率化につなげるべく、RPA（Robotic Process Automation）導入や Chat GPT の活用、ローコードアプリ作成、DX 化や IoT 化、ペーパーレスなど、実務に直結する情報を提供した。	
	開催期間	7 月～2025 年 1 月
	「知的財産研究会」 （ハイブリッド形式） 企業における法務や知的財産担当者、研究・開発部門スタッフを対象に全 8 回の研究会を開催。運営にあたっては大阪工業大学知的財産学部と連携し、これからの知財保護・活用戦略を掘り下げて考えた。テーマは、昨今関心の高い特許出願と秘匿主義の使い分け、グローバル知財戦略などを取りあげた。	
	開催期間	8 月～2025 年 3 月
	「自動車テクノロジー研究会」 （ハイブリッド形式） 自動車業界のトレンドである「電動化」「自動運転」「軽量化」といった技術革新の潮流は従来の産業構造を大きく変えるインパクトがある。こうした変化の現状と今後の展望について情報を収集する場として、自動車メーカーや大手部品メーカーによる講演を実施した。	
	開催期間	10 月～2025 年 3 月
	「採用活動研究会」 （ハイブリッド形式） 限られた資金の中でいかに採用戦略を立てるのか、勝つための戦略、採用のルール・手引き、自社アピールのポイントなど、採用力を高める方法、実際に成功させた事例を紹介し、採用活動を見直すきっかけとなる情報を提供した。	
	開催期間	11 月～2025 年 3 月
	「プロダクトデザイン研究会」 （ハイブリッド形式） 製品開発の現場において重要性を増しつつあるプロダクトデザイン。本研究会は製品設計・製品企画・開発部門の方を対象に、魅力ある製品デザインについて学ぶ場とした。新製品開発などに活用できる工業デザインの基本や手法を、実例をもとに情報提供した。	
	開催期間	12 月～2025 年 3 月

4－4 現場力強化研究会

概要	日本が世界に誇れる分野であるものづくりをさらに磨きあげるには、現場の知恵と工夫による改善にさらに注力しつつ、最新技術を追求する必要がある。常に求められる変化と革新に対応できるよう、ユニークかつ豊富な事例と実践知識を学ぶ場として研究会を開催した。	
実施内容	「工場経営研究会」 （集合型） ものづくり企業の経営幹部・工場責任者が一堂に会し、ディスカッションや情報交換により相互研鑽を図る。企業規模や事業内容が違っても、製造業の経営の一翼を担う者として共通する課題を取りあげ、全 18 回の研究会を開催。各回のテーマは、生産管理や改善手法など工場に不可欠な実務知識から、財務・法務問題、人事労務、人材育成まで幅広く網羅している。将来にわたって事業を継続させていくための先導者として、経営感覚を身につけるとともに、経営の視点から工場全体を統括・マネジメントできる力を高めた。	
	開催期間	4 月～2025 年 3 月
	「次世代の工場 最新技術研究会」 （集合型） ものづくりは、世界的に大きな変革の時を迎えている。新しい生産方式が登場し、オンデマンド生産、パーソナライズ化、スマートファクトリー化などといったキーワードで語られている。本研究会では、次世代の工場をテーマに、生産現場の IT 化・IoT 化、ロボット活用などの事例を紹介した。	
	開催期間	10 月～2025 年 3 月
	「製造部門人材育成研究会」 （ハイブリッド形式） 製造部門における人材の育成や定着は、どの企業においても共通の課題といえる。確固たる正解がないなかで、育成計画や教え方、モチベーション向上策などの取り組みを、具体的な事例をもとに多面的に学ぶことにより、現場の人材育成について考える場を提供した。	
	開催期間	10 月～2025 年 3 月
	「簡易自動化研究会」 （集合型） 最先端技術の採用ではなく現場の地道な工夫・改善に着目。お金をかけずに現場の知恵を結集し、手軽でかつ大きな効果を生む簡易自動化を取りあげた。重力やてこの原理、ぜんまいや滑車などのからくり機構と、モータやセンサといった動力や簡単な制御機器を活用して絶大な効果をあげた具体的な事例を紹介し、工場の体質強化に寄与した。	
	開催期間	10 月～2025 年 3 月
	「A I（人工知能）研究会」 （ハイブリッド形式） 新たなサービスやビジネスの創出、製造現場の労働力確保、付加価値生産性の向上、熟練者の技能の継承といった、さまざまな課題に対し、AI の実用化による解決に大きな期待が寄せられている。AI で何が変わり、何ができるのかという実例を幅広く紹介することで、工場はもとより企業全体での AI 活用に向けたヒントを提供した。	
	開催期間	11 月～2025 年 3 月

4－5 新技術研究会

概要	需要の変動に対応し、変種変量生産を機敏にこなす工場や、オンリーワン技術で強みを発揮する工場、海外生産拠点のマザー機能を発揮する工場など、国内生産で強い競争力を持つ工場はまだまだ数多く存在し、日本のものづくりの底力を体現している。こうしたメーカーの現場見学と技術講演を行い、独自のコンセプトを見る・聴く・学ぶことによって最新の技術動向を掴み、今後の経営や工場運営に役立つ情報を吸収した。	
	開催件数	15 回

4－6 展示商談会

概要	会員事業所と大手メーカーとをつなぐマッチング事業として、会員事業所が持つ技術・製品を直接アピールする「新技術・新工法展示商談会」。 2024 年度は、川崎重工業(株)明石工場で実施した。	
	開催件数	1 回

4－7 国内工場見学研修

概要	三現主義という言葉があるように、机上の論理ではなく、「現場」で「現物」を観察し「現実」を認識したうえで問題解決を図ることが重要である。とくに、ものづくりにおいては現場から学ぶことが多く、生産性の向上、製品の改良、新製品開発のヒントも現場でこそ見出すことができる。異分野の現場に学ぶ見学研修を積極的に実施し、経営者あるいは技術者の情報収集ニーズに応えた。 2024年度は、ファナック㈱、スズキ㈱、㈱木村铸造所を訪問した。	
	開催件数	2回

4－8 海外産業視察研修

概要	日本企業の海外事業所や現地メーカーを訪問し、実際の姿を見聞、学ぶ機会を提供する。国外の経済情勢は刻々と変化しており、「百聞は一見に如かず」の言葉どおり、現地を訪れることには大きな意義がある。海外のものづくり現場の実地見学および現地法人責任者とのディスカッションを通して、マスメディアでは得られない活きた情報を掴んだ。 2024年度は、アメリカ（シリコンバレー）、タイを訪問した。	
	開催件数	2コース

4－9 講師派遣

概要	所在地が遠方である等の理由により集合型への参加が難しい企業、また対象人数が多いため自社でのセミナー開催を望む企業に対し、講師を派遣する形での開催に対応。既存のプログラムにとどまらず、ニーズに合ったカリキュラムの編成から講師との調整までをサポートした。	
	社内研修の支援(講師派遣) 計9回実施	

4－10 オンデマンド研修講座

概要	事前に録画した専門性の高い動画コンテンツを提供する研修。いつでも、どこからでも協会サイトにアクセスして研修動画を視聴することが可能であり、テーマを何度も見返し、繰り返し復習することが可能である。セミナー受講が難しい環境や、すきま時間を活用して研修受講したい方などの多様な研修ニーズに応えた。	
	開催件数	8コース

4－11 機関誌 商工振興刊行

概要	会員事業所へのインタビュー記事や、専門家による解説記事、行政からの広報などを収録し、毎月1回発行。会員企業の情報を発信する誌面をつくることを目指し、「会員企業訪問」や「私が大切にしている言葉」「ザ・ターニングポイント」といった会員企業を紹介する記事を掲載。また、顧客への手土産選定に役立つ「バイヤーおすすめ 季節のお菓子」や、もカイゼン人材を育てるヒントを提供する「カイゼン人材を育てよう」など、さまざまな観点から読みごたえのある内容で年間通しての連載記事も掲載した。(毎月1日発行 全12冊)	
----	---	--

4－12 優良従業員表彰

概要	会員事業所における従業員の勤労意欲増進を図るため、1962年より毎年実施。永年勤続かつ他の模範であるとして事業主から推薦を受けた者を選考し、会長名による表彰状の授与、ならびに祝賀会を行った。(104事業所から推薦された192名が受賞)	
	開催日	2024年11月6日

4－13 経営者・経営幹部交流会

概要	経営者や経営幹部の相互交流の場として、新年賀交歓会やゴルフコンペなどを開催し、会員同士の相互理解、親睦を深める。	
	開催件数	3回

4－14 経営指導・情報提供・通信教育

概要	会員事業所からの経営上、技術上の相談に応え、情報提供や専門家の紹介を行ったほか、研修用 DVD 教材の貸し出し等により対応した。また、セミナー参加以外の学びの形として、通信教育講座を開講し学びを支援した。	
	通信教育講座	256 コース開催

4－15 会員名簿刊行

概要	会員事業所の紹介と会員の相互交流・融合化の一層の促進を図ることを目的として、所在地、従業員数、事業内容などの現状調査を行い、会員名簿を刊行した。	
----	--	--

4－16 協会創立記念周年事業

概要	2024 年 12 月をもって当協会は創立 75 周年を迎えた。記念すべき節目を会員とともに祝い、協会設立の趣旨をあらためて思い起こす機会として祝賀行事を開催した。	
	開催日	11 月 25 日（ホテルニューオータニ大阪「鳳凰の間」）